

第26回

プレイエル 小音楽会

The 26th PLEYEL Mini Concert in CHOKOKAN

PLEYEL

2021年12月12日(日)

会場 徴古館 (1階 展示室内)

演奏 大坪 健人さん

16⁰⁰ | 18³⁰

※各回 約1時間

料金 1,500円(小学生以下は1,000円)

定員 各回30名(要事前予約)

要予約

徴古館webページ



☎0952-23-4200

※会場内では消毒や検温、換気等の感染症対策を行います。また、マスクの着用等へのご協力をお願いいたします。
※当日はインターネット配信用の動画撮影を行います。会場内のお客様が映り込む場合がありますので、あらかじめご了承ください。



動画配信も行います 協力: LiveS Beyond

演奏会の様子は12月22日より配信いたします。(申込み不要)
詳細は徴古館HPやLiveS Beyondのwebページをご覧ください。



徴古館

The Museum CHOKOKAN
NABESHIMA

profile



大坪 健人

Otsubo Taketo



佐賀市出身。

佐賀西高を卒業後、京都市立芸術大学に入学。

学部と大学院を卒業し、ドイツへ留学。

2019年ドレスデン音楽大学を最高点の首席で卒業。

留学中に多数のコンサートに出演する。

第25回宝塚ベガ音楽コンクール第3位。

第38回佐賀県音楽協会新人賞受賞、第22回フッペル鳥

栖ピアノコンクール第3位、月光賞受賞、佐賀銀行文化財団新人賞など、その他多数受賞。

2014年日本演奏家連盟主催で九州交響楽団とリストのピアノ協奏曲を、2019年の10月にはアルモニア管弦楽団とベートーヴェンのピアノ協奏曲「皇帝」を共演。

現在、佐賀を中心に演奏活動を展開する。



program



シヨパン 作曲

エチュード

作品 10-12『革命』

ノクターン 第13番

幻想ポロネーズ

リスト 作曲

ハンガリー狂詩曲 第12番

ほか

※曲目は都合により

変更になる場合がございます



PLEYEL



イグナツ・プレイエル(Ignace Joseph Pleyel 1757—1831)により、1807年パリに創設されたプレイエル社が製造するピアノ。

プレイエルには、打弦音をできるだけおさえる設計がほどこされているため、余計な雑音を消し、木のあたたかい響きをふんだんに出すことにより、香りたつような音色を醸し出します。

1832年に、プレイエルの音楽堂でパリにおける最初の演奏会を開いたピアノの詩人シヨパンは、それ以後この楽器を愛し、生涯使い続けたといわれています。

プレイエルの伝統はデリケートな音色や楽なタッチに生かされ、フランスにおけるもっとも優れたピアノのひとつとされています。

徴古館のピアノ プレイエルは、朝香宮嶋彦王第一王女紀久子様と昭和6年(1931)、鍋島直泰様(13代)に降嫁される際に婚礼調度としてフランスで誂えられたもの。婚礼調度目録によると、「マークヲ撰バズ、音ノ良キモノ」と記されています。

フランスからもたらされたプレイエルのやわらかな音色は、渋谷・神山にあった鍋島邸の居間で、また大磯の別荘で御一家に癒しのひと時を与えたことでしょう。

1年半に及ぶ修復の完成を記念して2001年から開催しているプレイエル小音楽会も、今回で26回目を迎えます。

※新型コロナウイルス感染症対策のため、予定が変更となる場合があります。

開催中の展覧会 |

「鍋島家伝来品のいろは」展 (明治以降編)

新たに佐賀県指定重要文化財となった「鍋島直大像」をはじめとする鍋島家伝来品の中から、隠れた見どころを知っていただきたい品々を選出！伝来品にまつわる意外なエピソードや共通点、県指定重要文化財になった理由など、様々な視点から見どころを分かりやすく紹介します。



染付唐草吉楽紋飯洋食器 (1920年代後半)

10月26日(火)～
12月26日(日)

【時間】9:30～16:00(月曜休館)

【入館料】300円(中学生以下は無料)



交通アクセス |

無料駐車場あります

- 長崎自動車道 佐賀大和I.C.から、市街方面へ車で約20分
- 佐賀駅バスセンターから、市営・昭和・祐徳の各バスで「県庁前」または「佐嘉神社」下車
- JR 佐賀駅から、県庁方面へ徒歩約20分

お問い合わせ |

info@nabeshima.or.jp
http://www.nabeshima.or.jp

0952-23-4200

(公益財団法人鍋島報友会)



徴古館
The Museum CHOKOKAN
NABESHIMA